

木造ガソリンスタンド見学会の報告

(社)大分県建築士会日田支部 広報部長 秋 和夫

平成 28 年 11 月 8 日(火)午後 13 時より、日田市日の出町に建設中である木造のガソリンスタンドの見学会に参加しました。



(建物の外観と工事の様子)



(見学会の様子)

発注者は、木材協同組合の関係者であり、木材のPRや木造建築の普及につなげようとガソリンスタンドの木造化を決めた経緯があり、危険物を取り扱うガソリンスタンドが木造となるのは全国初ということで、建築・林業の行政関係者など、たくさんの見学者が訪れていました。



(説明をする工事関係者)

建築基準法では、ガソリンスタンド内の建物はすべて耐火構造としなければなりません、今回の物件に関しては、木造構造体を個別認定取得した石膏ボードで覆う工法で耐火構造としたことで基準をクリアしました。

2階建ての木造事務所棟(延床面積 128m²)の構造材に日田産スギとヒノキを使用しておりましたが、屋根がせり出す「キャノピー棟」は耐久性やコストを考慮して鉄骨製としたそうです。



(木造事務所内部の様子)

《報告後記》

林業が基幹産業の日田市では、建築基準法上の耐火構造としなければならない建築物は木造にとってコスト面が大きなハードルです。

今回は、発注者が木材関係者だったこともあり、木造耐火構造となりましたが、この試みはその打開の第一歩となるよう期待しております。

(広報部長 秋より)